

若い男が新しい恋人に誕生日のプレゼントを買いに街に出かけた。

投稿者：：

Posted on : 2016-1-22 11:43:04

まだ知り合って間もないので、いろいろ考えた末、余り個人的になり過ぎない手袋、ロマンティックな厚手の手袋に決めた。 恋人の妹と一緒に選んでくれるように頼んで、一緒にC & Aに出かけた。

そこで、彼は白い手袋を、妹は自分用にパンティーを購入し、夫々別に包んでもらう事にした。売り子はそれを間違えて、手袋を妹に、そしてパンティーを若い男に渡してしまった。若い男は手袋をもらったと思い、パンティーを持って郵便局に行き、手紙と一緒に恋人に送る事にした。

その手紙にはこう書かれてあった。

「私の愛する恋人よ！ 誕生日おめでとう！ ここにプレゼントを送ります！ このプレゼントにしたのは、君が私と一緒に夕食に出かけるとき、君はこれをしていないからです。

僕はボタンの付いた長いのがいいかなと思ったのだが、君の妹が短いのが脱ぎ易いと言ったので、短いのにした。

色が汚れ易いと思ったが、売り子が自分はまだもう3週間もはいているが、全然汚れないと、彼女を見せてくれた。ではこれも試してくれと彼女に頼んだところ、大変素敵に見えた！

君が最初にこれを着る時は、僕が着せたい！ でもそれまでには、このプレゼントは多くの人の手と接触している事だろう！ 最初に脱いだ時は必ず中に息を吹きかけてね、多分着ている時に、少し湿ってしまう事もあるから・・・。

僕は今後このプレゼントに何度キスする事か！ 今度の金曜日の夜、これを着ているといいな！

君への愛と共に・・・。

追伸：

これを少しまくって着て見て！ 内側の毛が少し見えるように！」

彼女は彼に再び会う事はなかった！